

## 令和5年度 岐阜市障害者総合支援協議会 専門部会（テーマ別分科会） 下半期 実績報告

## ◆第5回

日時	令和5年11月29日（水） 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	地域生活支援拠点等整備「体験の機会・場」について
参加	障害福祉サービス事業所 （共同生活援助 一般・特定相談支援事業所）18名 指定管理、委託事業所 5名 （合計：23名）
内容	岐阜市における地域生活支援拠点等整備について、昨年度の協議結果をふまえて、充実のための方策について協議した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜市における拠点等における「体験の機会・場」の機能、算定可能な加算について確認した。また、新規事業所登録申請について、周知を行った。</li> <li>一般・特定相談支援事業所、共同生活援助事業所、それぞれの立場で「体験の機会・場」について、さらに利用を促進するためのアイデアを出しあった。</li> </ul>

## ◆第6回

日時	令和5年12月13日（水） 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	医療的ケア児等への支援について～医療的ケア児・者及びその家族が安心して暮らすために～
参加	関係団体 3名 関係機関 8名 一般・特定・障害児相談支援事業所 10名 障害児通所支援事業所、障害児入所施設等 4名 指定管理、委託事業所 5名 （合計 30名）
内容	近年、医療的技術の進歩等を背景に、在宅で生活する医療的ケア児が増加していることを踏まえて、岐阜市では、これまでも医療的ケア児等をテーマにした専門部会を開催し、医療的ケア児等に関する理解や現状の課題を把握し協議してきた。 今回は、岐阜市における制度や保育所及び学校における医療的ケア児の対応について理解し、当事者団体から実際の活動報告を知る機会とした。さらに多くの医療的ケア児及びその家族が、有効的に社会資源を活用するために何が必要かを協議した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人やご家族の気持ちの部分の孤独に支援者がどのように寄り添っていくかを考え、協議会などを通じて岐阜市の支援や仕組みを検討していく必要がある。</li> <li>社会資源の利用につながっていくよう、医療機関へ相談窓口の情報を発信していく。教育・福祉・医療など多機関にまたがるため、相談窓口間でも連携していく。ワンストップで支援が受けられるような相談先があるとよい。</li> <li>スマートフォン等のアプリにより、情報をスムーズに発信し、自分に必要な情報を選んで入手できるのではないか。</li> </ul>

◆第7回

日時	令和 6年1月25日(木) 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	強度行動障がいについて
参加	関係機関 1名 一般・特定・障害児相談支援事業所 13名 障害福祉サービス提供事業所 9名 委託事業所 4名 (合計 27名)
内容	<p>これまでに強度行動障がいの支援体制・人材育成等について協議し、岐阜市における支援の在り方・チーム作りについて協議してきた。</p> <p>今回は、岐阜市で生活する強度行動障がい児・者の生活状況について理解し、支援や関わりについて感じていることを共有した。また事業所で受け入れを促進していくための支援者チームの在り方について協議した。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者が強度行動障がいについて理解し、知識や経験等を支援者間で共有することで適切な支援が出来る。</li> <li>・強度行動障がいの方の行動の背景をとらえ、本人が受け入れやすい状況からスタートすること。支援者が共通理解をし、適格にアセスメントし、次の支援へというように段階を経て支援していくことが重要である。お互いに見通しを増やしていくことで時間はかかるが受け入れていくことが出来る。</li> <li>・強度行動障がいの支援者チームがあることで、支援について事業所だけで抱え込むことなく、関係者が一緒に考えていくことが出来る。</li> </ul>